

# Art Space "O" Concert No.231

世界のハープ界で最も注目されている逸材

## 吉野 直子 ハープリサイタル

2020年11月1日(日)午後4時開演 アートスペース・オー

Naoko YOSHINO, harp

ロンドンに生まれ、6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学び始めた。1981年に第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年には第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少の17歳で優勝した。

これまでに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、チューリヒ・トーンハレ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスなどのオーケストラや、アーノンクール、メータ、プーレーズ、プロムシュテット、メニューイン、フリューベック・デ・ブルゴス、小澤征爾など、国内外の著名オーケストラや指揮者と共演を重ねている。リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など世界の主要都市で数多く行っている。特に1994年、ヴァチカンのシステリーナ礼拝堂での修復記念コンサートは大きな注目を集めた。また、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、マールボロ、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど、世界の主要音楽祭にも度々招かれ、常に好評を博している。

室内楽の交流も幅広く、ヴァイオリンのクレーメル、ヴィオラのV. ハーゲン、今井信子、チェロのC. ハーゲン、フルートのニコレ、ランパル、シュルツ、パユ、ホルンのバボラークなどと共演を重ねてきた。また、ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹「そして、それが風であることを知った」、細川俊夫「ハープ協奏曲」、高橋悠治「Insomnia」、マヤーニ「ソナタ第2番」など初演した作品は数多い。

レコーディング活動も活発で、これまでにテルデック、フィリップス、ソニー・クラシカル、ヴァージン・クラシックスなどからCDを発表している。2015年には、フランスのアパルテ (Aparté) からオーヴェルニュ室内管と共演した「ハープ協奏曲集」を発表した。また、自主レーベルのグラツィオーソ (grazioso) を創設して、5年計画の録音プロジェクトを開始。その第1作「ハープ・リサイタル～その多彩な響きと音楽」を2016年に、第2作「ハープ・リサイタル 2～ソナタ、組曲と変奏曲」を2017年に、第3作「ハープ・リサイタル 3～バッハ・モーツァルト・シューベルト・ブラームス 他」を2018年に、第4作「ハープリサイタル4～その多様な響きと音楽」を2019年に、第5作「ハープリサイタル5～その多様な響きと音楽II」を2020年3月に発表し、いずれも非常に高い評価を受けている。

1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽賞奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボソ女性芸術賞をそれぞれ受賞している。国際基督教大学卒業。

### プログラム \*当日曲目を変更する場合があります

- J. ブル (M. グランジャーニ編) : 王様の狩り  
W. クロフト: サラバンドとグラウンド  
G. B. ペシエッティ (C. サルツェード編) : ソナタ ハ短調  
J. S. バッハ: フランス組曲 第3番 口短調 BWV814

休憩

- E. ヴァルターニキューネ: チャイコフスキーの歌劇  
「エフゲニー・オネーギン」の主題による幻想曲  
M. I. グリンカ: 夜想曲  
F. リスト (H. ルニエ編) : 夜鳴きうぐいす  
F. リスト (H. ルニエ編) : ため息  
C. サルツェード: バラード 作品28

チケット: 全自由席5,000円 電話/メール予約30~40名

Tel. 042-796-3971 e-mail: [ohashi@artspace-oh.com](mailto:ohashi@artspace-oh.com)

〒194-0003 町田市小川2-28-21(水曜休) <http://www.artspace-oh.com>

ご注意: 駐車場はありません。

お車でお越しの方は成瀬駅南口近くに有料駐車場がありますのでご相談ください。裏手住宅地への路上駐車は呉れぐれもなさないよう、ご協力をお願い致します。

Art Space "O"

ギョウリ&ホル・器の店・陶芸教室  
成瀬駅南口より徒歩6分

